

多議における切崩し、小作争評の際における地主の暴力因体となりつつあるか、如く資本家地主のために反動政策に取
 り込まれてゐる農村青年並に、吾々の組織を獲得すること目下の要務である。斗争が激化し軍隊が争評の圧
 制に乗せられ、並に資本主義最後の城壁として彼等から人としてゐると、吾々の斗争の決定的勝利は、吾々の組織と敵自
 己の斗争を以ては出来ぬことである。斗争激化せる今日の組合運動を真に戦ひぬくことの出来るのは、青年である。青年
 の任は如何に高く評価されようともそれだけ決して過重評価ではな、犠牲的精神にトミ、因習にとらわれず、勇気があり
 来るの社会を背負つてゐる。が青年である。小作争評争評にあつて、大衆行動の中堅として先頭部隊として敵とヨリ
 争ひ得るものは青年をおいて外にない。である。争評の勝敗は組合力の弱、強にかたきまると、吾々は自己の生活、コソの左の
 青年部の組織は最も重要である。各支部班は組合員の青年子弟で青年部を組織し、青年部長を置き、自主的
 組織とし組合の指導系統制下におく。
 愚痴であるが組織であるのは婦人である。折々の争評に抗して良き斗争争評中兵タン部として或は共同耕作に決同
 田植に支配階級の圧迫を分けて、争ひ得るものは婦人部である。教度の大事争評に於て、
 争評の後の組合を良く作り争評を勝利と導くには、各支部では婦人部を組織し、充分に婦人部の特性を
 發揮させるようにすること。

昭和十年度予算決定之件

収入之部 二千七百七十五円

五百円
壹百円

組合費完納者八七。
準組合員納入費
臨時収入

執行委員会提出

支出之部

沐浴交通費	六〇〇円	非正規費印紙代
訴訟費	三五〇円	
争評及組短費	三〇〇円	
家賃	二一六円	一月十八円
常任食費	三八四円	月一八円四角五分
果物大会費	一五〇円	
板文具印刷費	一〇〇円	
印刷費	一五〇円	
圖書費	八〇円	
書籍新聞	八〇円	
器具費	三〇〇円	
雑費	五〇〇円	
全会本部費	二〇〇円	
予備費	八五〇円	
合計	二七七五円	